

2011年7月29日

株式会社損保ジャパン・ヘルスケアサービス

中央労働災害防止協会との提携 ～ 総合的メンタルヘルス対策サービス提供の実現 ～

中央労働災害防止協会（会長：米倉 弘昌、以下「中災防」）と、株式会社損保ジャパン・ヘルスケアサービス（社長：今井 達也、以下「SJHS」）は、メンタルヘルスサービス分野での業務提携を行います。この提携により、両社はそれぞれの強みを生かしながら、提供するサービスメニューの一層の充実を図ります。

1. 提携の概要

- (1) 中災防は、顧客企業のうちメンタルヘルスに関する二次・三次予防（※）支援を希望する企業をSJHSへ紹介します。
- (2) SJHSは、ラインケア・セルフケア研修等の独自で提供する研修メニューに、中災防が提供可能な事業場内メンタルヘルス推進担当者養成研修等のメニューを加え、多様化する顧客ニーズに対応します。中災防のメニューで対応する場合には、顧客企業との契約締結はSJHSが当事者になり、研修実施までの対応（研修資料の準備・講師の選定・研修当日の運営等）を中災防に業務委託します。

2. 提携の背景と効果

中災防は、1979年に将来の高齢化社会、それに伴って増えるであろう生活習慣病に備えるため働く人の健康づくりとしてフィジカルを中心に企業内の健康づくりの普及活動を行ってまいりました。2001年より、メンタルヘルス面での対応も重要課題となり、厚生労働省の施策の普及啓発活動に取り組むとともに企業のニーズを踏まえ、一次予防サービスである研修を中心に提供して参りましたが、近年メンタルヘルスに関する二次・三次予防サービスを求める顧客が増加しつつあるため、今回の提携によりその提供を可能なものとし、総合的なメンタルヘルスサービスの提供を実現します。

一方SJHSは、2007年の創業から5年目を迎え、顧客数は200社近くに上り、サービス提供地域も全国規模になるなど確実に事業が拡大するなか、サービスメニューのバージョンアップと全国規模での高品質サービスの提供が求められています。特に、メンタルヘルス研修については、長年契約いただいている顧客企業から新たなメニューを求められることも少なくなく、また全国各地で対応できる高レベルの講師陣のネットワークも必要になることから、メンタルヘルス研修で実績のある中災防と提携することで、その実現を図ります。

3. 提携日

2011年9月1日

以上

※二次予防は「早期発見と対処」、三次予防は「治療と職場復帰、再発防止」を意味します。また、一次予防は「未然防止および健康増進」を指します。

<ご参考>

名称	中央労働災害防止協会	株式会社損保ジャパン・ヘルスケアサービス
本店所在地	東京都港区芝5-35-1 産業安全会館	東京都新宿区西新宿1-26-2 新宿野村ビル10F
代表者	会長 米倉 弘昌	代表取締役社長 今井 達也
設立	1964年8月1日	2007年4月2日
事業内容	事業主の自主的な労働災害防止活動を促進し、働く人々の安全と健康を確保するための総合的活動	<ul style="list-style-type: none">メンタルヘルス対策プログラムおよびメンタルヘルスケアの各種支援ツールの研究・開発企業のメンタルヘルス対策に関する産業保健体制の支援企業のメンタルヘルス対策に関連した制度構築等に対するコンサルティング業務